

## 住友商事(株) 岡相談役

- 毎回現場で感じることは、**首長の強いリーダーシップと関係者の情熱、市民の参画意識の重要性**。これにどうやって持続性を持たせていくかが重要。
- 成果の横展開を進めていく上では、総務省がいくつかの**類型化したモデル**を作り、旗振り役となって全国展開していくことが重要。

## 東京海上日動火災保険(株) 石原相談役

- 街づくりを進めていく上で、**どのようなICTのツールがあり、どのような住民サービス(アプリケーション)を実現できるのか、街の特性も含めてしっかり整理しておく**と、効率的、スピーディーかつローコストな普及展開が期待できる。
- 海外展開にあたっては、成果が出てから方策を検討するのではなく、**最初からグローバルな視点**で取組を進めていくべき。

## 東京都三鷹市 清原市長

- 成果の普及展開にあたっては、モジュール化等の技術的な環境整備だけではなく、**街づくりの推進体制作りや持続性の確保**が重要。
- **地域の事情に応じて地元企業や大学等を巻き込みながら、低コスト・低リスク・利用者本位**で街づくりを進めることが重要。
- 個人番号カードの有効活用のためには、**住民に利便性を感じてもらえるようなカードにすることが重要**。自治体の努力もさることながら、民間企業等の多様なサービスへの活用に期待したい。

## 東京大学大学院 須藤学環長

- データ構造化やモジュール化等、取組のレベルは高いが、引き続き**更なる共通化の検討**は必要。APIを含めた共通基盤について、より継続的な検討が必要。

## 慶応義塾大学 徳田教授

- 各地域で首長だけではなく、住民も一緒になって取組を進めており、これを**持続可能なビジネスモデルやエコモデル**に繋げていくことが重要。
- システム構築という技術面だけではなく、**運用・管理や、住民を含めた街づくりを担う体制面の整備**も重要。
- 共通IDの利活用については、**民間サービスでの活用がスムーズに進むとともに、安心・安全かつ使いやすいもの**になっていくことが重要。

## 産業戦略研究所 村上代表

- **あくまでICTはツール**であり、街づくりにおいて**どのようにICTを活用していくのか**という視点が大切。
- **類型化したベストプラクティス集**を作成する際には、先行地域の取組を他の地域が参照しやすいよう、**得られた成果から逆引き**できるようになっていると、取組の価値が上がる。

## 遠藤政府CIO

- 単発の実証で終わらせることなく、**持続可能な形にすることが重要**。
- 追従する他の地域を惹きつけるためにも、実証で得られた**具体的な効果を明示**するべき。
- このような取組は、予算措置も含めてもう少し続けていくと良いのではないか。